

## 平成31年度 年間指導計画

教科	芸術科	対象クラス	○ 必修	単位数	2
科目	書道 I	1A・1F・1H1・1H2	必修選択		単位
使用教科書 使用教材	書道 I (東京書籍)。書道具一式				
評価の 観点・方法	書写から書道へと表現としての書道の違いを理解し、古典学習の基本を踏まえ、自己表現へと幅広く取り組むことができたか。また、用具用材の特徴を理解し、表現へとつなげることができたか等を観点に丁寧に取り組んだかどうかを観る。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	書写と書道の違いを知る。様々な文房四宝、またその使い方を知る。	書写と書道の違いの説明。用具用材の特徴を知り、扱い方を指導。	書写と書道を図版を見せながら説明。実際の用具用材を手にとらせて体験させる。	2
	5	書写の基本点画を復習する。書体を学ぼう。楷書を学ぼう。	書写の基本点画の実習を行う。漢字の成立の歴史を学び、楷書の古典から臨書の技術を学ぶ。	基本点画の確認。九成宮醜泉銘、孔子廟堂碑や雁塔聖教序など、楷書の古典を臨書することで、楷書の字形の特徴や結構法を体験する。	6
	6	初唐の三大家の楷書、中唐の顔真卿の書、北魏の書を学ぼう。	唐代の楷書の古典を鑑賞し、書風の違い、書体の特徴などを学ぶ。北魏の2つの碑と造像記の比較してその表現の特徴を考察する。	三大家の書法の違いとともに 願氏家廟碑から中唐の大家の書の重厚な表現を学ぶ。願法の筆法を学ぶ。北魏の磨崖碑と造像記の書法の特徴を学ぶ。	8
	7	行書を学ぼう。漢字の書を創作しよう。	行書の成立と変遷を概観する。王羲之の書法を理解する。	行書の成立過程を知り、書体の特徴を理解して臨書するよう指導する。王羲之の蘭亭序を中心に臨書する。	2
	8				
2 学期	9	日本で書かれた行書を学ぼう。	空海の風信帖を中心に行書作品を概観する。	風信帖を臨書する。	2
	10	漢字・仮名交じりの作品制作を学ぼう①	作品制作の手順を指導する。	自分の好きな文字、古典を書く。	6
	11	漢字・仮名交じりの作品制作を学ぼう②篆書を学ぼう。	作品制作の手順を指導する。篆書の筆法を学ぶ。	自分の好きな文字、古典を書く。篆書を臨書する。	6
	12	篆刻を学ぼう①	篆書の書体から印をデザインする面白さを知る。	印章の歴史や意義の広がりを理解し、自分の名前を彫る。	2
3 学期	1	篆刻を学ぼう②	篆書の書体から印をデザインする面白さを知る。	印章の歴史や意義の広がりを理解し、自分の名前を彫る。	4
	2	仮名書に親しもう 仮名を知ろう。	仮名の成立と漢字との表現の違いを知り、平安時代の古筆を鑑賞する。	仮名の用筆の特徴を理解し、実習する。仮名の単体、連綿を練習する。	4
	3	実用書道を学ぼう。	生活の中の書を知り、名前をきれいに書けるように指導する。	名前の書き方を練習する。	2